

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	4900 総務諸費(子ども議会)	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		24	協働の促進	根拠法令	なし				☒ 主な事業
施策の展開		45	市民参画の推進	戦略事業	216	子ども議会の開催			☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業					☐ 新市建設計画
									☐ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		学校で学んだ地方自治や地方議会制度について子ども達の理解を深め、現在の社会状況や、自分が住んでいる旭市のまちづくりについての意識を高めることを目的とし、市内小・中学校の児童・生徒を対象に実際の議場での議会を体験してもらう。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
合併以前から旧旭市・飯岡町で存在した事業で合併後も継続して開催している。 合併以降は平成18年度から事業を開始し、毎年度各学校から1名ずつ（中央小・二中は各2名）計22名の児童・生徒が子ども議員として参加している。		子ども議員である児童・生徒の質問内容が毎年度偏っており、市政に対する理解が限定的となってしまう。 る。	特になし

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円
1.食糧費	56	子ども議会昼食代・飲物代
2.報償金	19	子ども議会参加記念品
3.印刷製本費	6	子ども議会集合写真プリント代
4.消耗品費	6	子ども議会用消耗品
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
事業費	1.食糧費	千円	-	55	54	56	57
	2.報償金	千円	-	17	18	19	24
	3.印刷製本費	千円	-	11	6	6	6
	4.消耗品費	千円	-	13	5	6	10
	事業費計(A)	千円	0	96	83	87	97
財源	1.国庫支出金	千円				0	
	2.都道府県支出金	千円				0	
	3.地方債	千円				0	
	4.その他	千円				0	
	5.一般財源	千円	0	96	83	87	97

前年度増減理由: ほぼ増減なし。

従事職員数: 常時 2人 最大 7人 × 1日 = 延べ 7人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

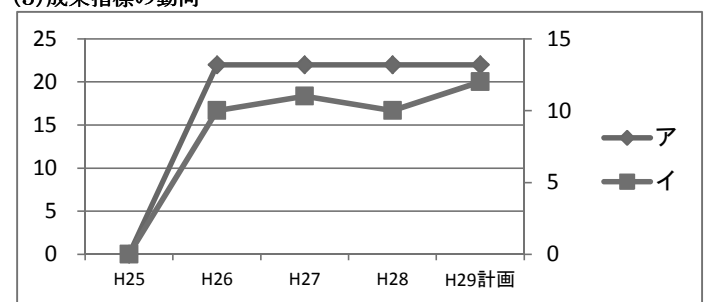
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
手段	28年度実績(28年度に行った主な活動)	参加者数(子ども議員及び市内各小学校傍聴者)	人	開催見送り	44	44	44	44
	市内小中学校の児童生徒を対象に子ども議会を開催した。							
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
目的	対象: 参加した児童・生徒	質問事項の回答に対して「わかった」と答えた児童・生徒の数(子ども議員のみ)	人	開催見送り	22	22	22	22
	意図: 自分たちの住む旭市のまちづくりに対する意識を高めてもらう。	質問事項に対して回答した課の数	課	開催見送り	10	11	10	12
目的	対象意図							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項
評価内容	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難 【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	成果指標A: 成果指標のタイプ 成果指標B: 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	時期: 内容: 新たな取り組み事項はなく、例年通り対応。 今後の方向性: 拡大 ☐ 縮小 ☐ 現状維持 ☒ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()
	【コメント】(低下の場合、その理由) 比較: 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画 A: 開催見送り 22 0 0 0 B: 開催見送り 10 1 Δ1 2	比較: 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画 A: 開催見送り 22 0 0 0 B: 開催見送り 10 1 Δ1 2	比較: 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画 A: 開催見送り 22 0 0 0 B: 開催見送り 10 1 Δ1 2